

# 社会科学習指導案

学習者 附属小学校3年3組34名

指導者 山本 真央

## 単元名 お客さんのニーズに応えるお店の工夫 ～Fさんのこだわりはだれのため？～

### 1. 単元の目標

地域に見られる販売の仕事について、消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして白地図などにまとめ、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現することを通して、販売の仕事は消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に地域に対する誇りや持続可能な社会を担おうとする態度を養うことができるようにする。

### 2. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、販売に携わっている人々の仕事の様子を理解している。	① 消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、問いを見だし、販売に携わっている人々の仕事の様子について考え表現している。	① 地域に見られる販売の仕事について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。
② 調べたことを白地図や文などにまとめ、販売に携わっている人々の仕事の様子を理解している。	② 販売する側の仕事の工夫と消費者の願いを関連付けて、販売の仕事に見られる工夫を考え、適切に表現している。	② よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。

### 3. 指導と評価の計画（時間）

時	ねらい（◆）と主な学習活動（○）	評価規準〈評価方法〉		
		知・技	思・判・表	主体
1	◆地域にあるお店の工夫について、保護者アンケートの結果やそれをまとめたグラフを読み取ったり読み取った情報を基に話し合ったりすることを通して、学習問題をつくることができる。			
	○自分たちや家族が利用する身近な販売方法を出し合う。 ○保護者アンケートの結果やそれをまとめたグ		○①〈記述分析・発言分析〉	



	<p>ラフから読み取った情報を出し合う。</p> <p>○読み取った情報を基に話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【予想される児童の考え】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーマーケットで買い物をしている人が多い。</li> <li>・スーパーマーケットを除くと、産直とれたて市場で買い物をする人が多い。</li> <li>・学校の近くのメロンやとれたて産直市場に行ってみてみたい。</li> </ul> </div>			
<p>学習問題：お店では、お客さんに買い物に来てもらうためにどのような工夫をしているのだろうか？ ～「お店のこだわりはココ！」を探れ～</p>				
2	<p>◆学習問題について、教科書の店内図を参考にしながら予想したり、予想したことを交流したりすることを通して、見学の視点や学習計画を立てることができる。</p> <p>○学習問題について、生活経験や教科書の店内図を参考にしながら予想する。</p> <p>○予想を交流する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【予想される児童の考え】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メロンも産直とれたて市場も食材にこだわっていいそうだな。</li> <li>・お客さんが喜ぶサービスをしていいそうだな。</li> <li>・食材が安いのではないかな。</li> </ul> </div> <p>○予想を基にして、見学の視点や学習計画を立てる。</p>			<p>・①〈記述分析・発言分析〉</p>
	<p>◆お客さんに来てもらうためのメロンの工夫について、店内を実際に見学したり店員さんに質問したりすることを通して、お客さんのニーズに応えるお店の工夫や働く人の工夫を理解することができる。</p> <p>○メロンを見学したり、働いている人に質問したりする。</p> <p>○見学や調査をしてわかったことをまとめる。</p> <p>※質問の仕方については、国語「もっと知りたい、友だちのこと」で扱う。</p>	<p>・①〈記述分析・発言分析〉</p> <p>・②〈記述分析〉</p>		
5	<p>◆メロンの工夫について、お店の取組や働く人々の行動をお客さんのニーズと関連付けて考えたり、お客さんのニーズごとにまとめたりすることを通して、メロンはお客さんのニーズに応えることで売り上げ（お客さんに来てもらう）を伸ばしていることを理解することができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>本時の課題</p> <p>メロンやそこで働く人々は、お客さんに来てもらうために、どのような工夫をしているのだろうか？</p> </div> <p>○見学や調査をしてわかったことをお客さんのニーズと関連付けて考える。</p> <p>○お客さんのニーズごとにまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>本時のまとめ</p> <p>メロンでは、お客さんに来てもらうために、〈買い物のしやすさ〉〈商品の豊富さ〉〈買いたくなるものを見つけられる〉などのお客さんのニーズに答えた工夫をしている。</p> </div>		<p>・②〈記述分析・発言分析〉</p>	



	○個人ごとに学習ログにメロンのこだわりをまとめめる。			
6	◆産直とれたて市場の工夫について、メロンの行っていた工夫やお客さんのニーズという視点で予想したり、予想したことを交流したりすることを通して、見学の視点や質問を考えることができる。			
	<p>本時の課題 Fさんの産直とれたて市場では、お客さんに買い物に来てもらうために、どのような工夫をしているのだろうか？</p> <p>○メロンの行っていた工夫を参考に予想を考えたり、お客さんのニーズという視点で考えたりする。</p> <p>○予想を交流する。</p>		○①〈記述分析・発言分析〉	○①〈記述分析・発言分析〉
7 ・ 8	◆お客さんに来てもらうためのFさんの産直とれたて市場の工夫について、店内を実際に見学したりFさんに質問したりすることを通して、お客さんのニーズに応えるお店の工夫や働く人の工夫を理解することができる。			
	<p>○産直とれたて市場を見学したり、Fさんに質問したりする。</p> <p>○見学や調査をしてわかったことをまとめめる。</p> <p><b>※質問の仕方については、国語「もっと知りたい、友だちのこと」で扱う。</b></p>	○①〈記述分析・発言分析〉	○②〈記述分析〉	
9	◆Fさんの産直とれたて市場の工夫について、お店のやっていることや働く人々の行動をお客さんのニーズと関連付けて考えたり、お客さんのニーズごとにまとめたりすることを通して、産直とれたて市場はお客さんのニーズに応えることで売り上げ（お客さんに来てもらう）を伸ばしていることを理解することができる。			
	<p>本時の課題 Fさんの産直とれたて市場では、お客さんに来てもらうために、どのような工夫をしているのだろうか？</p> <p>○見学や調査をしてわかったことをお客さんのニーズと関連付ける。</p> <p>○お客さんのニーズごとにまとめめる。</p> <p>本時のまとめ Fさんの産直とれたて市場は、お客さんに来てもらうために、〈商品の安さ・新鮮さ・種類〉〈安心な品物〉〈大分県産品〉などのお客さんのニーズに応えた工夫をしている。</p>		○②〈記述分析・発言分析〉	
10 本 時	◆Fさんが産直とれたて市場に形が整っていない野菜を置く理由について、既習事項を基にした考えづくりシートで意見の交流をしたり、生産者とお店の利益の内訳やFさんの話と自分の考えを関連付けて考えたりすることを通して、Fさんがお客さんと生産者、お店の三者の願いを満たそうとしていることを表現することができる。			
	<p>本時の課題 メロンには形の良い野菜しか並んでいないのに、産直とれたて市場のFさんはなぜ形の整っていない野菜も売っているのだろうか？</p>		○②〈記述分析・発言分析〉	

	<p>した考えづくりシートをつくる。</p> <p>○考えづくりシートで交流をする。</p> <p>○新たな資料を基に自分の考えを見直す。</p> <p>○Fさんの話を聞く。</p>			
	<p>本時のまとめ</p> <p>産直とれたて市場に形が整っていない野菜を置いているのは、お客さんのニーズに応えたいというFさんの思いがあるから。</p>			
1 1	<p>◆学習問題について、学習ログにメロンと産直とれたて市場の工夫やこだわりをまとめたり、班で伝え合ったりして、それぞれのお店によってお客さんのニーズは異なり、それに伝えていくことで売り上げを伸ばしていることを理解している。</p>			
	<p>本時の課題</p> <p>お店には、お客さんに買い物に来てもらうためのどのような工夫があるのだろうか？ ～「お店のこだわりはココ！」を探れ～</p> <p>○学習ログにメロンと産直とれたて市場の工夫やこだわりをまとめる。</p> <p>○学習ログにまとめたお店の工夫やこだわりを班で伝え合う。</p>	○②〈記述分析・発言分析〉		
	<p>単元のまとめ</p> <p>お店は、それぞれのお客さんから求められているニーズがあり、それに伝えていくことで売り上げを伸ばしている。</p>			
1 2	<p>◆学習のまとめについて、メロンや産直とれたて市場で獲得したお客さんのニーズとお店の工夫の関係を自分や家族の利用するお店や他の販売方法で考えたり、学習ログにまとめたりすることを通して、販売の仕事に関わる見方・考え方を生かすことができる。</p>			
	<p>○自分や家族の利用するお店や他の販売方法について、お客さんのニーズとお店や販売方法の工夫について考える。</p> <p>○学習ログに考えたことや休日に実際に利用してみたことをまとめる。</p> <p>※実際に調べるのは、自主学習として行う。</p>			○②〈記述分析〉

#### 4. 本時の指導案

<b>本時のねらい</b>	Fさんが産直とれたて市場に形が整っていない野菜を置く理由について、既習事項を基にした考えづくりシートで意見の交流をしたり、生産者とお店の利益の内訳やFさんの話と自分の考えを関連付けて考えたりすることを通して、Fさんがお客さんと生産者、お店の三者の願いを満たそうとしていることを表現することができる。
<b>評価規準</b>	Fさんが形の整っていない野菜も売る理由を話し合い、Fさんが三者の願いを満たそうとしていることを考え表現している。
<b>具体的な児童の姿</b>	「形が整っていないことで安く売れてもうかる。」「産地直送だから形が悪くても新鮮な野菜だということがお客さんにも分かってもらえる」等と考え作りシートに記述していたりそれを使って発言していたりする姿。また、「お客さんのニーズやお店のもうけだけでなく、生産者の人ことも大切にしてい、 <b>みんなに得がある</b> ことがわかった。」等振り返りで記述している姿。

時間	児童の活動	指導○及び留意点・ ◎評価〈方法〉 ※支援を要する児童への手立て	準備物
5分	1. 学習問題を確認し、本時の課題を立てる。 	○学習問題を確認し、資料の比較を通じて、本時の課題を立てるようにする。 ・ 掲示してある学習問題を確認する。 ・ メロンに並んである野菜の写真と産直とれたて市場においてある野菜の写真を提示する。 ・ メロンにはきれいな野菜しか並んでないのに対して、産直とれたて市場にはきれいな野菜だけでなく <b>訳あり品</b> の野菜も売られていることから本時の課題を立てるようにする。	写真
10分	2. 課題に対する自分の考えを持つ。 	○課題に対する自分の考えをつくるようにする。 ・ 考えづくりシートで、資料を基にした根拠のある考えを持つようにする。 ※考えが持てない児童には、友達の考えづくりシートを参考にするため立ち歩くことができるような状況を普段よりつくり、見通しを持てるようにする。 ・ 考えづくりシートを教師に提出するようにする。	ロイロノート
15分	3. 課題に対する考えを交流する。	◎Fさんが形の整っていない野菜も売る理由を表現している。 (記述分析) ○課題に対する考えを交流するようにする。 ・ 児童の発言を〈お客さん〉や〈産直とれたて市場〉などの立場に分けて板書する。	考えづくりシート
		予想される児童の考え ・ 安く売れるから。お店も安く仕入れることができるから。 ・ 産地直送で形が悪くても新鮮だから売れる。 ・ 生産者の方がせっかく持ってきてくれたから売りたい。	

<p>12分</p>	<p>4. 新しい資料や情報から考えを再構成する。</p>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品の安さがお客さんのニーズに答えていること、商品が売れば産直とれたて市場の利益につながるなど目に向きだしたら、「Fさんが形の整っていない野菜も売るのは、お店の利益（もうけ）のためか？」と問い返す。</li> <li>考えを再構成するようにする。</li> <li>「産直とれたて市場と生産者の利益の内訳」の資料を提示する。</li> <li>資料を基にペアで話し合い、全体で考えを交流する。</li> </ul> <p>予想される児童の考え・反応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産直とれたて市場よりも生産者に入るお金の方が多い</li> <li>お店の利益のためだけじゃないみたいだ</li> <li>Fさんは生産者の人を大切にしているんじゃないかな</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>Fさんへの思いが高まったところで、Fさんに登場してもらい、児童の話し合いの内容や考えてきたことへのFさんの思いを話してもらう。</li> <li>Fさんの話を踏まえて、本時のまとめを行う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>まとめ</b></p> <p>産直とれたて市場に形が整っていない野菜も置いているのは、お客さんのニーズに応えた上で、お店だけでなく生産者の利益や生活を守りたいというFさんの思いがあり、<b>お客さん・産直とれたて市場・生産者のみんなに得があるから。</b></p> </div>	<p>資料：利益の内訳</p>
<p>3分</p>	<p>5. 本時の振り返りを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の振り返りを書くようにする。</li> <li>本時の振り返りをノートに記述し、写真にとらせ、学習ログに添付するようにする。</li> <li>本時の振り返りを発表するようにする。</li> </ul> <p>◎Fさんが形の整っていない野菜も売理由を話し合い、Fさんが三者の願いを満たそうとしていることを考え表現している。（記述分析・発言分析）</p>	

**【成果】**

- 本物（実際の店舗見学・ゲストティーチャー）との出会いと発問でつなぐ学習展開は、児童の追究意欲を持続させたり、高めたりする上で有効だった。本時においても、自分達が考えたことをゲストティーチャーの方に聞いていただき、その場でお話していただいたことで理解を深め、思いを強くすることができた。
- 児童に資料をもとに自分の考えを形成することを求めてきたことで、児童の考えが根拠のあるものになってきた。まだまだ、自分の考えだけを発表しようとする児童もいるので、今後もこだわって指導していきたい。

**【課題】**

- 自分の考えをもつことを大切にしてきたので、どうしても個人解決や全体での発表の時間が長くなってしまった。ペア・グループ活動などの協働的な学びの時間をもう少し長く設定し、児童がお互いの考えを聞き、深め合う時間の確保をしていくことが必要だった。
- 社会見学の際に、消費者の方々へのインタビューも実現できれば、消費者への意識も今よりも高まったのではないかと考える。実現可能かも含め、今後の実践に取り入れていきたい。